

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 29 日現在

機関番号：17102

研究種目：基本研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22401025

研究課題名（和文）ボストン美術館所蔵日本古典集成

研究課題名（英文）Investigation on the Japanese classics possessed by The Museum of Fine Arts, Boston

研究代表者 松原 孝俊

(MATSUBARA TAKATOSHI)

九州大学 韓国研究センター・教授

研究者番号：20150378

研究成果の概要（和文）：1. ボストン美術館所蔵和本調査：2012年5月、8月、10月調査実施。ボストン美術館が提供する資料に対して、中野三敏、ロバート・キャンベルらの日本チームと、Yukio Lippit らハーバード大学チームが共同で、ボストン美術館との協議を経て、書名・著者・刊写年など書誌データなどを集積しつつ、ボストン美術館から世界に向けて発信される WEB 掲載和本書誌データの最大化を推進した。その結果、MFA 所蔵和本のほぼ全点約 7000 点以上、3 万冊以上におよぶ調査が幸いにも終了した。本プロジェクト着手する前には、約 3000 点程度だと推定されていたが、William Sturgis Bigelow、Edward・Sylvester Morse、Ernest・Francisco Fenollosa・岡倉覚三（天心）などの先人等が情熱を傾けて蒐集した和本数はその 2 倍以上であり、MFA 所蔵の絵本・画譜数は世界一であると判明した。

この研究会を契機として、韓国・台湾・中国・ヨーロッパ 8 ヶ国、アメリカ・カナダなどの専門家との情報ネットワークが構築できた。今後ともに、このネットワークを活用して、九州大学が当該情報の研究拠点となり、各国の和本所在情報を蒐集し、同時に関連する研究発信を続けたい。

また優秀な次世代日本学研究者および和本書誌スペシャリスト養成のために、ボストン美術館調査期間中に和本リテラシー・セミナーなどを実施し、今後現地の研究者によるボストン美術館書誌調査が可能となるように調査に共同で従事しつつ、その育成に努めた。その結果、国内 11 機関と海外 11 機関の計 22 機関間の在外和本所在情報ネットワークが形成された。このネットワークを活用して、九州大学が当該情報の研究拠点となり、各国の和本所在情報を収集し、同時に関連する研究発信を続けたい。

研究成果の概要（英文）：The purpose of the research entrusted to this project is as follows.

"The purpose of this research is to create the basic bibliographic data of Japanese classics in abroad, investigating synthetically and systematically Japanese classics, Chinese books possessed in the Museum of Fine Arts, Boston.

Also, striving for its public presentation and dispatch, it would contribute to the training of next generation researchers of Japan-U.S. "Japanology", and the

construction of Japanology researcher community. "

According to the purpose, the following result was achieved.

We carried out a field survey in May, August, and October 2012.

The Japanese team of Nakano Mitsutoshi, Robert Campbell and Harvard University team of Yukio Lippit accumulated the bibliographic data, such as a title, an author, and a publication year through deliberations with Museum of Fine Arts, Boston.

And, created the bibliographic data printed in the WEB, which will be sent towards the world from Museum of Fine Arts, Boston .

As a result, the investigation on most of Japanese classics possessed in MFA, which amounts to about 7000 works and 30,000 volumes or more, was completed.

Before carrying out this project , we presumed that they would be only about 3000 works, but it became clear that the number of Japanese classics ,which predecessors such as William Sturgis Bigelow, Edward-Sylvester Morse, Ernest-Francisco Fenollosa and Kakuzo Okakura (Tenshin) collected with passion, is the twice of our presumption. So, we will be able to say that the number of picture-book and works possessed in MFA is bigger than that of any other museums in the world.

Add to that, in order to train excellent next-generation Japanology researchers and specialists for japanese classics, we carried out the literacy of japanese classics and the seminar. Also, we strived for the training of researchers in Boston, engaging in the research together so that they may be able to do themselves in the future.

I would also like to write that the network over the information, concerning about whereabouts of Japanese classics ,was formed between 22 organizations (11 domestics and 11 overseas.) Using this network, Kyushu University wants to become a base of research over this research: Japanese classics, and collecting the information of whereabouts, we are going to disseminate what is concerned to our research.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
22年度	4,000,000	1,200,000	5,200,000
23年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
24年度	4,400,000	1,320,000	5,720,000
年度			
年度			
総計	12,900,000	3,870,000	16,700,000

研究分野：文学

科研費の分科・細目：日本文学

キーワード：ボストン美術館・和本リテラシー・書誌学・在外和本所在情報

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究代表者と研究協力者の中野三敏教授は、2007年度サントリー文化財団の研究助成（80万円）を受けて、ボストン美術館調査のpilot survey.を実施した。その結果、江戸絵本約3500タイトル、約8000冊所蔵（推計）・さらには浮世絵約6万枚の所蔵確認は出来ていた。

(2) 美術史家小林忠教授（学習院大学）による約20年以上のボストン美術館調査によって、十二分に良好な人間関係が構築されていたので、小林教授のサポートなくして、本研究は着手できなかったに違いない。

(3) すでに国文学研究資料館などと共催で、5回におよぶ在外日本典籍所在ワークショップを開催した（鹿児島・沖縄等）。

(4) 研究分担者であるロバートキャンベル先生は、ハーバード大学出身であり、ボストン美術館調査者として最適な研究者であるばかりでなく、世界の「日本学」研究者との幅広いNetworkを有する。3年間、調査ばかりではなく、各地でワークショップを開催する時の企画・連絡・調整など、英語を母語とするだけに全く障害がなかった。

2. 研究の目的

本業務の目的は、ボストン美術館所蔵和本・漢籍などを総合的、体系的に調査しつつ、在外和本総目録の基礎データを作成し、その公開・発信に努めると同時に、併せて日米の「日本学」次世代研究者養成や国際的日本学研究者コミュニティー構築に貢献することにある。

3. 研究の方法

ボストン美術館調査では、日本文学・美術史など領域横断化を企図すると同時に、新資料の発掘に従事する。各年ボストン美術館調査

を1ヶ月程度実地調査する。調査地域にあるハーバード大学 Yukio Lippit 教授（日本美術史）などとの共同研究を行うことで密接な調査連携、ハーバード大学大学院生を初めとする北米在住の次世代日本学研究者を養成すると共に、今後の地域横断的研究活動の統括を図る。これも各地域における「日本学」研究資源の共有化という意味を持つ。

4. 研究成果

①ボストン美術館調査

ボストン美術館が提供する資料に対して、中野三敏、ロバート・キャンベルらの日本チームと、Yukio Lippit らハーバード大学チームが共同で、ボストン美術館との協議を経て、書名・著者・刊行年など書誌データなどを集積しつつ、ボストン美術館から世界に向けて発信されるWEB掲載和本書誌データを作成した。また、平成23年度に引き続きその貴重性が確認されたホノルル美術館所蔵レインコレクション調査を実施した。ボストン美術館調査は、所期の目的を達成するために、計画に従って4回に渡り実施した。第4回目である

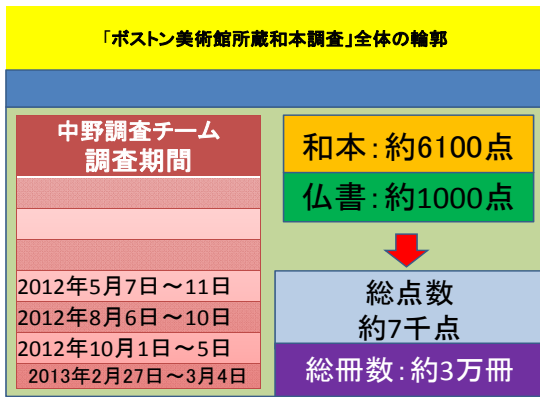
*2013年2月27日ー3月4日：調査者1名は、研究調査の総括に当たったために、実質的な調査は、3回であった。

(1) 2012年5月7日ー11日：調査者3名、368点

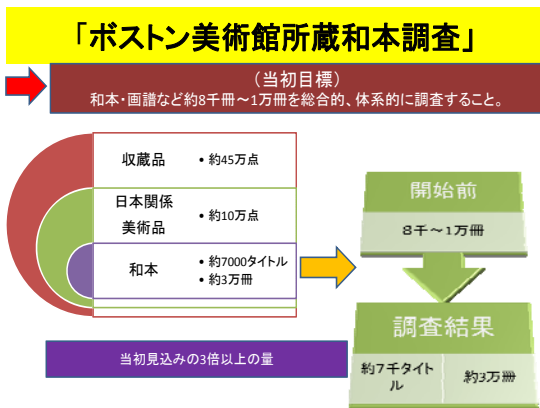
(2) 2012年8月6日ー10日：調査者5名、284点

(3) 2012年10月1日ー5日：調査者2名：117点

本中野プロジェクト調査に加えて、ボストン美術館側の調査協力も加えた結果は次の通りである。



これによって、ボストン美術館日本美術 Curator の予想と大きく異なり、その3倍以上の和本所蔵数が判明した。

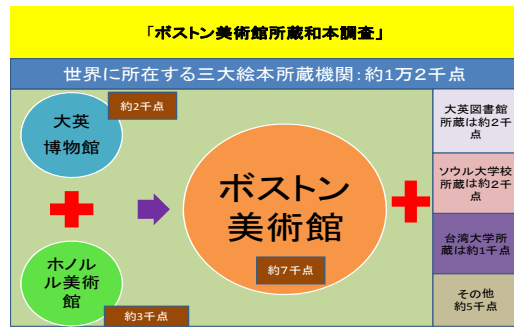


本中野プロジェクトの調査結果は、次のように概括できるはずである。

(1) 世界に所在する三大絵本・絵入り本所蔵機関（ボストン美術館・大英博物館＜調査終了済み＞・ホノルル美術館）の内、2機関の全貌をほぼ把握した点

(2) 世界三大絵本・絵入り本所蔵機関約1万2千点の内、約1万点の書誌データが作成した点

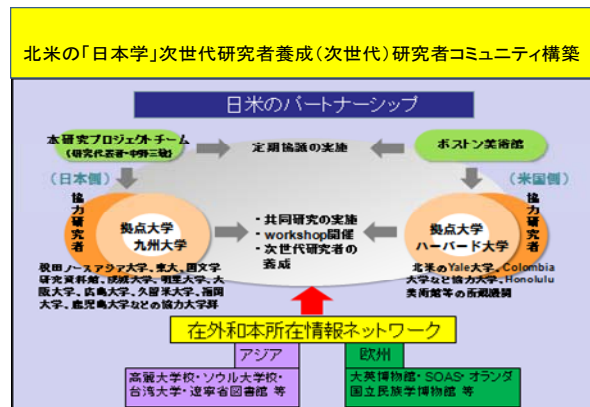
(3) したがって、過去10年にわたる中野プロジェクトの研究調査を加えると、4機関（ボストン美術館・ホノルル美術館・ソウル大学校・台湾大学）+Harvard大学アーサー・M・サックラー美術館（Arthur M. Sackler Museum）+その他を総計すると、海外所在和本の約1万8千点に達する書誌データを獲得した点



②次世代研究者の養成

優秀な次世代日本学研究者および和本書誌スペシャリスト養成のために、ボストン美術館調査期間中に和本リテラシーセミナーなどを実施し、今後、現地の研究者によるボストン美術館書誌調査が可能となるように調査に共同で従事しつつ、その育成に努めた。

その結果は、北米地域「日本学」次世代研究者 Community 構築に応分の寄与ができたことである。



この図で一覧できるように、国内11機関と海外11機関の26機関間の在外和本所在情報ネットワークが形成されたことも、大書しておきたい。

③在外和本所在情報セミナー

これまで個別に行われてきた在外和本所在情報を、国書総目録在外編ともいべき在外和書データベースへと発展させるため、在外和本所在セミナーを2回開催した。平成24年12月27日に「絵本セミナー」を東京大学駒場キャンパスで、ヨーロッパにおける和

本所在情報セミナーを九州大学で開催し（平成 25 年 2 月 16 日）、併せて 8 編の口頭発表があった。

④在外和本データの公開・発信

アメリカにおける「日本学」研究資源の共有化への第一歩としてボストン美術館に所蔵される和本データを公開するデジタル化作業の基盤作業に従事した。その一部は、すでにボストン美術館のホームページである、

<http://www.mfa.org/>

で Visual 情報と共に閲覧可能である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 2 件）

①中野三敏 和本リテラシーの回復を願う、九州大学発和本リテラシー、査読無、2013、1-5

②松原孝俊 4 人の Bostonian、九州大学発和本リテラシー、査読無、2013、7-24

〔学会発表〕（計 9 件）

①花田富二夫 東アジアの善書と江戸初期文学、日本文学の中の外国文学、外国文学としての日本文学（ハルピン工業大学）、2012. 8. 27、中国

②中野三敏 絵本と江戸文化、和本リテラシー（東京大学）、2012. 12. 27、東京大学

③クリストフ・マルケ フランスにおける江戸の絵本…コレクションの形成とその調査・紹介、和本リテラシー（東京大学）、2012. 12. 27、東京大学

④木村八重子 赤本黒本青本研究の現状、和本リテラシー（東京大学）2012. 12. 27、東京大学

⑤ロバートキャンベル ボストン美術館の絵本について、和本リテラシー（東京大学）2012. 12. 27、東京大学

⑥亀井森 ヨーロッパにおける和書所在情報、和本リテラシー（九州大学）2013. 2. 16、九州大学

⑦山本嘉孝 ボストン美術館調査に参加して、和本リテラシー（九州大学）、2013. 2. 16、

九州大学

⑧鈴木淳 「絵本」考—ボストン美術館の師宣絵本調査を通じて—、和本リテラシー（九州大学）、2013. 2. 16、九州大学

⑨中野三敏、松原孝俊 ボストン美術館所蔵和本調査総括、和本リテラシー（九州大学）、2013. 2. 16、九州大学
〔図書〕（計 1 件）

〔その他〕

ホームページ等

<http://matsu.rcks.kyushu-u.ac.jp/zaigaiwasho/kaken/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松原孝俊 (MATSUBARA TAKATOSHI)

九州大学韓国研究センター・日韓文化交流史・教授

研究者番号：20150378

(2) 研究分担者

ロバートキャンベル (Robert Campbell)

東京大学大学院・総合文化研究科・日本近世文学・教授

研究者番号：50210844

(3) 連携研究者

今西裕一郎 (IMANISHI YUICHIRO)

国文学研究資料館・日本中古文学・館長
研究者番号：90046219